



北区 江南区
西蒲区 南区 秋葉区

方面担当
(メディアシップ内)

025(385)7242

FAX (385)7245

homen@nigata-nippo.co.jp

中央区

西区 東区

市政担当

(市役所内)

025(228)3510

FAX (222)6915

n-shisei@nigata-nippo.co.jp

新潟

認知症 地域で理解深め



公民館で開かれたセミナーで認知症予防について理解を深める参加者＝新潟市西区

—— 西 区 ——

新潟市西区役所が、特色ある区づくり事業の一環で、認知症の予防や早期発見の大切さを住民に理解してもらう啓発活動に取り組んでいる。本年度から始めた試みで、区民向けの無料の検査やセミナーを実施している。数年後には65歳以上の国民の5人に1人がなると言われる認知症。中高年を対象にした取り組みを進め、地域ぐるみで認知症への理解を深めるよう力を注ぐ。

早期発見、予防大切さ学ぶ

西区の小針青山公民館で2日に開かれた認知症予防セミナー。管理栄養士や理学・作業療法士らが講師を務め、13人が参加。日常、気を付けるべき生活習慣の講話や心身の健康維持のための体操があり、参加者は熱心にメモを取り、講師と一緒に体を動かした。

要望が寄せられた。また、医療機関から、地域全体で認知症に対する意識を醸成するため、行政が事業に乗り出すのは意義があるとの助言があった。

西区では2022年度、認知症予防の関連事業に290万円を計上。前年度より220万円多く予算を確保した。検査と予防セミナーの事業は、県厚生連の新潟医療センター(西区小針3)に委託した。検査は来年3月末までに65歳以上になる区民が対象で、新潟医療センターで受けられる。計算問題などに答えて点数を付け、認知症の疑いを探る。公民館などで開くセミナーは区民以外でも受講できる。いずれも無料で、検査の受け付けは来年2月末まで、西区健康福祉課によると、本年度は検査に135人、セミナーには132人が参加した(2日現在)。

夫婦で訪れた樋口章さん(77)は、いざという時の心の準備をしようと受講した。「認知症になるかどうか、なるようにしかならないとは思っている。でも、予防になる運動はこれからは続けたい。セミナーを受けてよかった」と笑顔を見せた。

西区の啓発事業ではこれまで、「認知症サポーター養成講座」があった。ただ、講座は小中学生が認知症の人への接し方などを学ぶのが主題で、中高年向けの取り組みは少なかった。

こうした中、区役所には区民から「高齢者に対する施策も行ってほしい」「認知症対策の取り組みが必要」などの

田中美友紀課長は「自分はまだ大丈夫」「結果が怖い」など、認知症検査のハードルは高い」とした上で、「認知症は予防でき、早期発見で進行を遅らせることができる。今後も啓発活動に力を入れた」と話した。

区事業で検査、セミナーも